

新年を迎えて ～心を通わせる～

校長 高橋 馨

三学期を迎えた生徒たちの元気な声と共に、令和8年（2026年）、午（うま）年が始まりました。

今年の干支「午・馬」にまつわる中国のことわざに「千里の馬も伯楽に逢わず」という言葉があります。これは「どれほど優れた力をもつ名馬であっても、その力を見抜き、引き出してくれる存在に出会わなければ、十分に力を発揮することはできない」という意味です。また、日本には「馬が合う」という言葉があります。人と人との心の通い合いや、関係性の大切さを表しています。

これらは、本校の教育の在り方にも重なるものがあります。子どもたちは一人ひとりが、それぞれの力や可能性をもっています。そして、その力は、安心できる環境の中で、理解し合える人との関わりを通して、少しずつ引き出されていきます。本校が大切にしている基本姿勢、キーワードは『優しく』です。相手の思いに寄り添う優しさ、違いを認め合う優しさ、うまくいかないときも受け止める優しさ、こうした日々の関わりの積み重ねが、子どもたちにとっての「伯楽」となり、また「馬が合う」学びの場となっていくと考えています。

三学期は、次の学年や社会へとつながる大切な時期です。これまで築いてきた関係をさらに深め、子どもたち一人ひとりの力が発揮される「学び」を、教職員一同、心を込めて支えてまいります。本年も、保護者の皆様、地域の皆様の温かなご理解とご協力を、どうぞよろしくお願ひいたします。

カラフルな個性で魅了！～表現活動部出演「演劇祭」～

12月27日、東京芸術劇場で行われた、「東京都特別支援学校第34回総合文化祭『舞台芸術・演劇祭』」に、本校の表現活動部が出演しました！

演目は「ダンスパフォーマンス『色いろいろ』」。赤や青、緑やピンクやオレンジなど、生徒たちがそれぞれの「色」になり、カラフルな舞台を作り上げました。

部員一人一人の個性と同じように、ひとつひとつの色の魅力はもちろんですが、「それぞれの色が混ざり合って生まれる色だって素敵」というテーマのとおり、みんながお互いを認め合い、影響し合いながらできる、唯一無二の発表だったと思います。

当日は、卒業生も含む、たくさんの方に会場に来ていただきました。ありがとうございました。
これからも応援よろしくお願ひいたします。



八丈分教室より

12月24日（水）に八丈高校と合同で開催した球技大会で、分教室は生徒・教員チームでボッチャトーナメントに参加しました。「勝つぞー！おー！」の掛け声で、士気を高めて試合に臨みました。午後は卓球やバドミントン、フリスビー、的当て、フリースローなど、10種目ほどの競技を順番に回りました。自分の得意不得意に応じて仲間と分担しながら楽しく活動に取り組むことができました。八高生からのプレー中の手ほどきや拍手など、自然な関わりもあり、会場は終始和やかな雰囲気でした。

